

ギリシャ概況(2018年12月号)

1. 内政

- ・2日 イェニマタ変革運動党首がトルコを訪問し、ヴァルソロメオス・コンスタンティノープル総主教と会談した。
- ・11日 ギリシャ国会は、2019年から予定されていた年金削減を撤回する法案を全会一致で可決した。
- ・14日 新民主主義党(ND)の党会議が開催された。
- ・18日 ハリス・セオハリス無所属議員がNDへの入党を表明した。
- ・同日 ギリシャ国会は、2019年度予算案を賛成154票、反対143票で採択した。

2. 外政

- ・4～5日 カトウルガロス副外相が NATO 外相会合(於:ブリュッセル)に出席した。更に本会合のマージンにて、ストルテンベルグ NATO 事務総長、チャヴシュオール・トルコ外相、ディミトロフ・FYROM外相、ブシャティ・アルバニア外相及びモゲリーニ EU 外務・安全保障政策上級代表と会談した。
- ・4～5日 パホル・スロヴェニア大統領がギリシャを訪問し、パヴロプロス大統領、チプラス首相及びミツォタキスND党首と会談した。
- ・7日 チプラス首相が露を訪問し、プーチン大統領及びメドヴェージェフ首相と会談した。
- ・10日 カトウルガロス副外相が EU 外相会合(於:ブリュッセル)に出席した。
- ・10～11日 チプラス首相が国連主導で開催された「安全で秩序ある正規移住のためのグローバル・コンパクト採択政府間会議」(於:モロッコ)に出席した。更に本会議のマージンにて、エスピノサ国連総会議長及びカルボニエ赤十字国際委員会副総裁と会談した。
- ・12～14日 カトウルガロス副外相他が第一回ギリシャ・米国戦略的対話(於:米国)に出席した。なお、本対話にはポンペオ国務長官及びミッチェル国務次官補が出席した。更に、「カ」副外相はルート国連事務総長コンサルタント、ニミッツ国連事務総長特別代表及びボルトン国家安全保障問題担当大統領補佐官と会談した。
- ・17日 カトウルガロス副外相がギリシャ・キプロス・パレスチナ3か国外相会合(於:アテネ)に出席した。
- ・19日 カトウルガロス副外相がギリシャ・キプロス・ヨルダン3か国外相会合(於:キプロス)に出席した。
- ・20日 チプラス首相が第五回ギリシャ・キプロス・イスラエル3か国首脳会合(於:イスラエル)に出席した。
- ・21～22日 チプラス首相がパパス・デジタル政策・通信・情報大臣、イエロヴァシリ市

民擁護大臣、スピルジス・インフラ・運輸大臣等と共にセルビアを訪問し、ギリシャ・ブルガリア・ハイレベル協力会議、第六回ブルガリア・ギリシャ・ルーマニア・セルビア・ハイレベル協力会議及び第六回ギリシャ・セルビア・ブルガリア・ルーマニア4か国首脳会合に出席した。

3. 移民・難民問題

11 月には陸路及び海路でギリシャに到着する移民・難民の数が半減し、それぞれ 750 名、2,100 名となった。また、移民・難民の到着数が減少したことに加え、本土への難民の移送が迅速化したこと、本土にて収容施設が増設されたことから、ヒオス島における移民受け入れセンターに滞在する移民の数が同施設の収容可能人数内に収まった。

11 月 30 日現在 ギリシャに滞在する移民・難民は 69,300 名 (UNHCR 発表)。

4. 経済

(1) 経済動向

- ・3 日 ユーログループ(於:ブリュッセル)が開催され、2019年度ギリシャ国家予算に年金削減措置を含まないことが正式に承認された。
- ・5 日 OECDが発表したレポートによると、2017年度、ギリシャの GDP に占める税収の割合が39.4%となり、2016年度に比べ0.6%増加した。
- ・7～9 日 第五回アテネ国際観光見本市が開催された。

(2) 財政

ギリシャ財務省が 12 月 27 日付で公表した 1 月から 11 月の財政統計によると、1 月から 11 月の財政収支は 25 億 6,300 万ユーロの黒字、同期間のプライマリーバランスは 76 億 2,600 万ユーロの黒字となった。同期間の歳入は 474 億 7,100 万ユーロで政府目標を 7 億 6,000 万ユーロ(1.6%増)上回り、歳出は 449 億 800 万ユーロと政府目標より 28 億 800 万ユーロ低く抑えられた。

(3) 輸出入

ギリシャ統計局の 1 月 9 日付の発表によると、11 月の輸入総額は 45 億 9,130 万ユーロ(前年同月比 12.5%増)、輸出総額は 30 億 4,340 万ユーロ(前年同月比 16.3%増)となった。

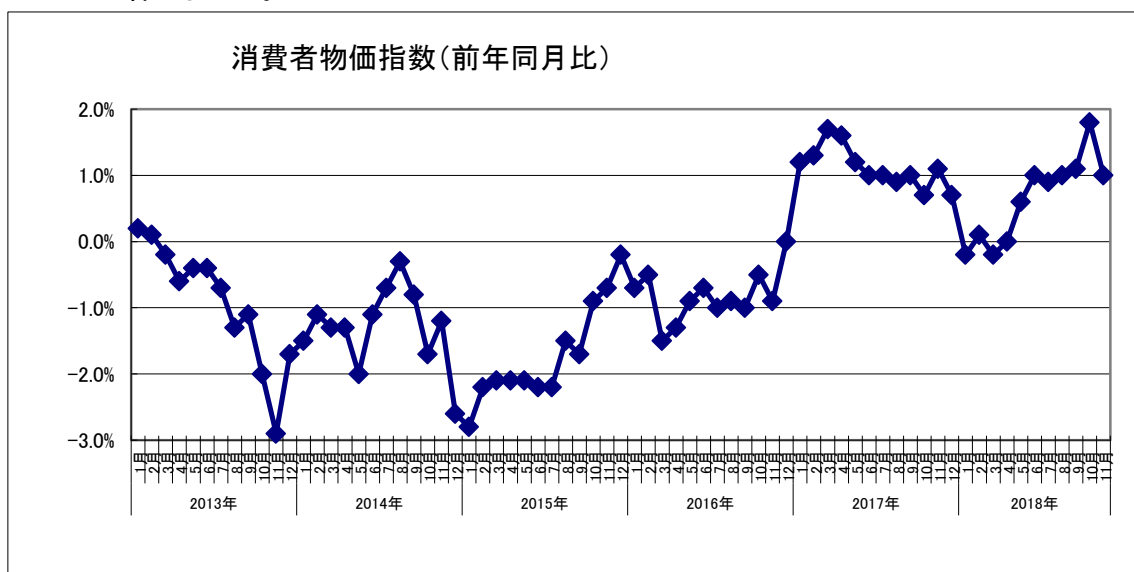
(4) 観光業

ギリシャ観光業協会(SETE)の発表によると、10月の観光客は、159万568人で、前年同月比7.7%増となった(国内主要空港の観光客到着数(暫定値)ベース)。内訳は、アテネ空港が51万3,658人で(同16.1%増)で、テサロニキ空港が17万4,550人(同9.3%増)となった。

5. 経済指標

(1) 消費者物価指数

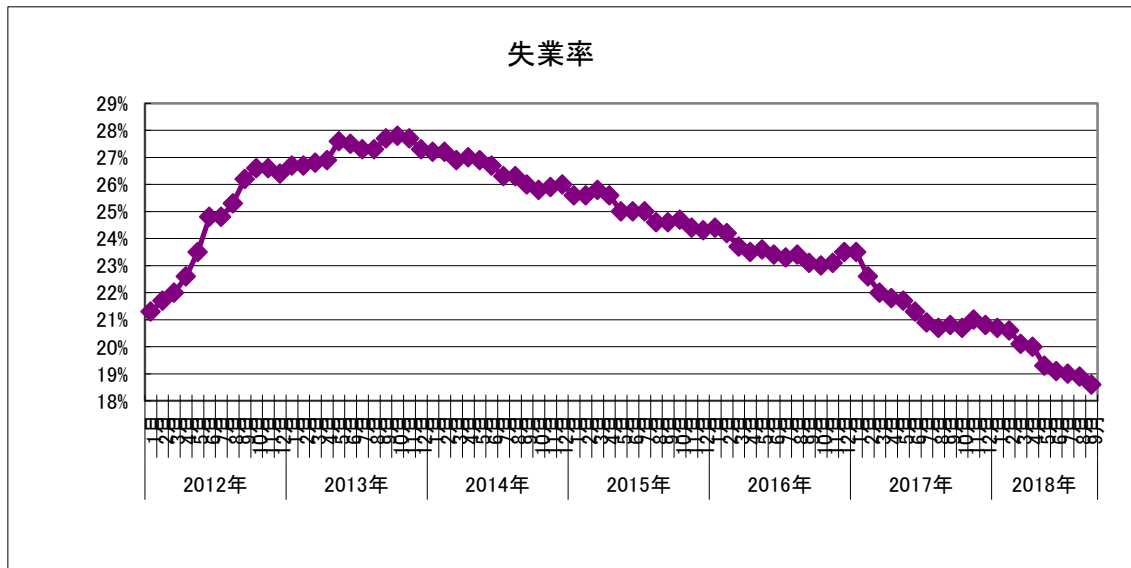
ギリシャ統計局の1月11日付の発表によると、12月の消費者物価指数は前年同月比0.6%増となった。



(出典:ギリシャ統計局)

(2) 失業率

ギリシャ統計局の1月10日付の発表によると、10月の失業率は18.6%となり、前月から変化は生じなかった。



(出典:ギリシャ統計局)

(3) GDP

OECDのデータによると、2018年第3四半期(7月～9月)の実質GDP成長率は前年同期比プラス2.2%となった。



(出典:OECD)

※この概況は各種報道・公表資料を基に作成した。